

健康づくりを支援する環境を整備しています

健康づくりの拠点施設

県民健康アラザ健康増進センター等



健康増進センターは、個人の状況に応じた健康づくりの処方を提供し、フードや温泉施設、フィットネス・マジオ等の施設を活用して、食生活や運動の面からの健康づくりを総合的に支援しています。また、ふれあいアラザなどの施設及びハートピアこしまは、それぞれ高齢者及び障害者の健康づくりを、精神保健福祉センターはところの健康づくりを支援しています。

健康増進センター TEL 0994-52-0052 なのはな館 TEL 0993-27-1221
ハートピアかこしま TEL 099-246-1616 精神保健福祉センター TEL 099-255-0617

産業界との連携

「かごしま食の健康応援店」



健康に配慮したメニューや健康情報を提供する飲食店や惣菜店を「かごしまの健康応援店」として登録し、県のホームページで紹介しています。職場ぐるみで員・社員の健康づくりに取り組む事業所を「職場の健康づくり貢献事業所」として、健康教室や健康相談に職員が派遣したり、啓発資料や健康関連情報を提供するなど、その取組を支援しています。

応援店及び貢献事業所は、常時募集しています。詳しくは、県のホームページをご覧になるか、県健康増進課までお問い合わせください。

健康づくりのツール

かごしま版食事バランスガイド

おなじみの地元料理や県産農林水産物を使った料理を取り入れ、私たちが1日に「何を」「どれだけ」「食べたらよいのか、望ましい食事のとり方とおおよその量をわかりやすく示しました。「かごしま版食事バランスガイド」を作成しました。

奄美の島唄 島唄り健康づくりプログラム

奄美の島唄、唄踊りの心身の健康増進効果を活用した運動プログラム。利用者の身体状況やニーズに応じて選べる4種類のエクササイズで構成されています。

スタボリックジム、うつ、自然たばこ等に関するリーフレットやポスターを作成しています。地域や職場でご利用ください。

病気の早期発見・早期治療のために

医療保険者が実施する特定健診又は職場健診がん検診を受診しましょう

鹿児島県保健福祉部健康増進課

〒890-8577 鹿児島市鷲池新町10-1 TEL099-256-2717 FAX099-286-5556
メールアドレス kenko@pref.kagoshima.lg.jp



心豊かに生涯を送れる 健康長寿文化県の創造

健康かこしま21

改定版



概要版

一人ひとりの健康づくりを
県民全体で支援するための健康づくり計画

健康かごしま21

は21世紀における県民健康づくり運動

健康長寿文化県の創造

鹿児島県は、他県に先行して高齢化が進行しており、食生活、運動習慣等と深くかかわりのある生活習慣病の増加傾向に伴い、早世や寝たきりなどの要介護状態になる方々の増加や県民の生活の質（QOL）の低下などが社会問題となっています。

そこで、すべての県民が健やかで心豊かに生涯を送ることができるように「第一次予防」に重点を置く対策を強化し、早世や要介護者を減少させ、健康寿命の延伸を図っています。

鹿児島県による死因別死因構成比（平成18年）

死因	割合
脳血管疾患	26.8%
癌	26.4%
心疾患	15.4%
その他	13.9%
糖尿病	1.3%
高血圧性疾患	0.4%

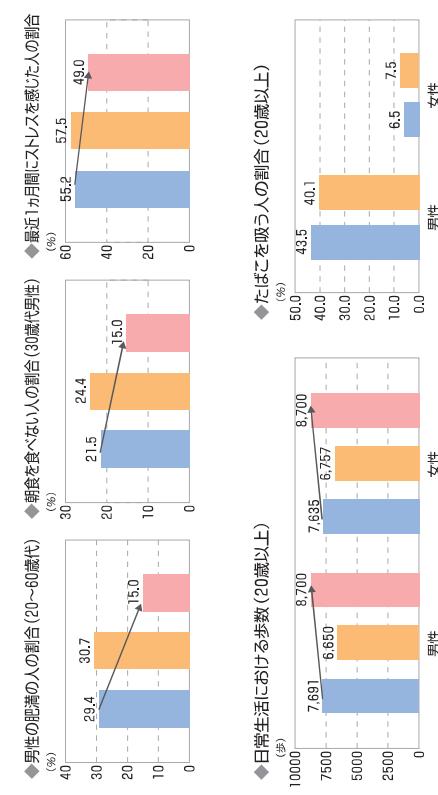
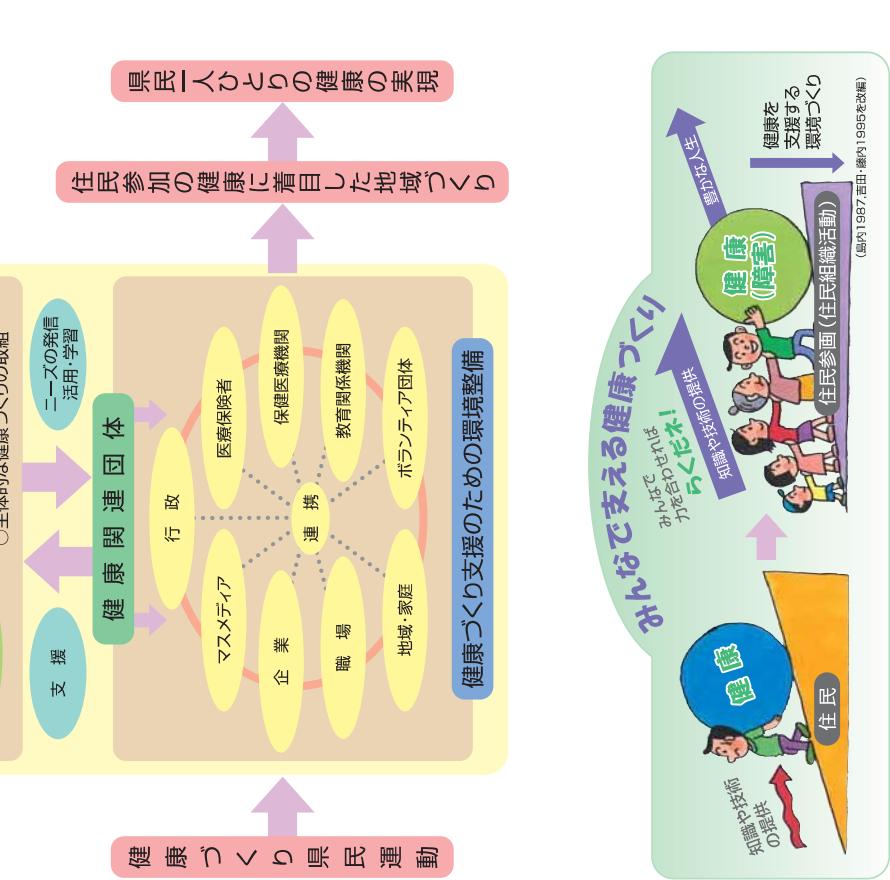
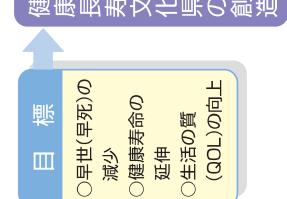
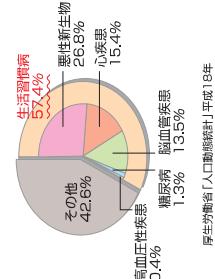
厚生労働省「人口動態統計」平成18年

健康の実現は、一人ひとりが主体的に取り組む課題ですが、社会全体が個人の主体的な健康づくりを支援していくことも重要です。

そこで、鹿児島県では、健康に関するすべての関係機関・団体等と県民が一体となって県民の健康づくりを推進するための計画として「健康かごしま21」を平成13年度に策定しました。

「健康かごしま21」がめざすもの

生活習慣病による死亡者は
全県の約6割（鹿児島県）



これから、「健康かごしま21」—改定のポイント—

重要目標項目別の主な関連目標項目

鹿児島県では、「健康かごしま21」に基づき、健康づくりの普及啓発や環境整備による県民の健康づくりの支援等に関係団体と協働で取り組んできましたが、その進歩状況を確認するために、平成17～18年度に各種調査とそれに基く中間評価等を実施しました。

その結果明らかになった県民の健康課題、保健分野をはじめとする社会情勢の変化を踏まえ、「健康かごしま21」のセカンドステージにおいて計画の一層の推進を図るため、平成19年度に計画内容の改定を行いました。

3つの重要な目標項目を中心とした健康づくり運動を進めます

3つの重要な目標項目とそれらと特に関連が深い47の関連項目を設定し、一体的に達成に向けて取り組みます。その主な目標項目を紹介します。

1 メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少

重要目標項目を設定しました

特に緊急かつ重要な健康課題について、積極的、総合的、集中的に取り組むため、次の3つの「重要目標項目」を設定し、それらに関係が深い目標項目を「関連目標項目」として、一體的な達成を目指します。

①メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少 メタボリックシンドローム該当者・予備群の考え方を導入

- ②自殺者の減少
年間の自殺者数を2010年に400人以下にする。

- ③がんによる死者の減少
75歳未満のがんの年齢調整死因率を2012年に2005年比7%以上減少させる。(2017年に20%減少)

①栄養・食生活と身体活動・運動

目 標	現状値 (2005年度)	目標値 (2010年度)
○栄養バランスの良い食事 ・脂肪を控える ・野菜をたっぷり食べる	脂質エネルギーの平均摂取比率の低下	20～40歳代 25%以下
○朝食をきちんととる ○生活の中で歩くように心がける ○運動習慣を身につける	1日当たりの野菜摂取量の増加	成人 301g 350g以上
○健康な食環境づくり ○身近に健脚つくりを支援する環境整備 ・指導者・支援者の育成 ・施設・設備、ツールの活用促進	朝食欠食者の減少	20歳代男性 30歳代男性 中・高生 6.9% 22.9% 0% 15%以下 15%以下
「かごしま食の健康応援店」の拡大 日常生活における歩数の増加 運動習慣がある人の増加	「かごしま食の健康応援店」の拡大 日常生活における歩数の増加 運動習慣がある人の増加	346 店舗 * 1,000店舗以上 6,650歩 6,757歩 成人男性 成人女性 21.6% 19.5% 30%以上 27%以上

* 1日30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者



健康づくりの推進方策を明らかにしました

「健康かごしま21」を推進していく上で基本となる11の視点（推進方策）

- ①健康づくりの県民運動の展開
②地域・職域・学域・保健の連携
③女性の生涯を通じた健康支援
④高齢者・障害者の心身の健康づくり
⑤地元資源を活用した健康づくり
⑥地元資源を活用した健康づくり
⑦効果的な健診・保健指導の実施
⑧産業界との連携
⑨健康増進センターの活用促進
⑩入材の配置・育成
⑪地域診断やエビデンスを活用した施策の展開

9領域にわたる目標項目

「健康かごしま21」では、生活習慣病の発症・重症状化の予防に深くかかわる9つの領域において、目標項目を設定しています。今回の改定で、新たに24項目56の数値目標を追加するなどにより、92項目156の数値目標を設定しています。(改定前は70項目112の数値目標)

*測定数については明記を省略。

②たばこ

個人が心がけること
○禁煙に取り組む

社会環境づくり
○喫煙をやめたい人を支援する

未成年者の喫煙をなくす
○未成年者の喫煙を防止する

進行した歯周炎(4mm以上)の減少
○受動喫煙防止対策の推進

③歯の健康

個人が心がけること
○歯周炎の予防

○歯科検診の定期的受診

社会環境づくり
○歯科保健指導や歯科健(檢)診機会の確保

